

(独) 地域医療機能推進機構船橋中央病院地域協議会議事録

日 時 令和元年7月11日(木)
16:00~17:00

場 所 第1会議室

出席者 (外部委員)
・野々下 次郎・中村 順哉・丸山 尚嗣・倉部 佐和子
(敬称略)

(病院委員)
・横須賀 収・高橋 喜久雄・深澤 元晴・大塚 恭寛
・赤石 仁・石田 智恵子(代理出席) (敬称略)

(事務局)
・吉田 茂生・川合 唯一 (敬称略)

1 開会 深澤副院長

2 院長挨拶

3 平成30年度事業報告

別添資料により、平成30年度事業報告について赤石事務部長より説明

4 意見交換

1. 訪問看護ステーション開設後の状況について

別添資料により石田副看護部長より説明

(丸山委員) 24時間体制ということだが、院内で誰かが待機しているということか。

(石田副部長) 連絡用の携帯電話を持って待機している。

(石田副部長) 現状、重症者の受入れがなかなかできていない点と、人材の育成が今後の課題であると考えている。

(中村委員) 先日、医師会のほうで訪問看護ステーションの顔合わせの会があった。やはり小規模のところは、マンパワーの部分で課題が多いように思われる。秋に南部と西部を対象に開催予定があるのでご参加いただければと思う。

2. 今後、当院へ望むこと

(横須賀院長) 二次救急の当番も引き受けており、救急の件数は増えてきているが、近隣の先生方からのご紹介ということになるとまだ少ない。

医療センターの紹介システムが大変好評だということをお聞きしてい

るので、当院でもなるべく簡便に受け入れられるシステムを構築して、紹介患者を増やしていかなければならないと考えている。

(丸山委員) 開業医の先生から急ぎの案件の際は部長に直接電話を繋いでおり、約6割の患者さんが入院となっている。

そこまで緊急性のない患者さんについては、開業医の先生方の紹介状作成などの手間を省くため、患者さん自身が予約をいれるというシステムにしている。

(横須賀院長) 当院としては、内科と外科の当直体制で、できる限りお断りしない方針としており、医師にもそのように指示している。

その中で、働き方改革を見据えて効率よく働くということも考えていかなければならない。

(倉部委員) 働き方改革が大きな話題になっているが、患者の立場から申しあげると具合が悪い時にお医者さんがいないという事態は困る。

(深澤委員) 働き方改革に関連していろいろと言われているところではあるが、当院では基本的にはどの時間帯でも患者さんを受入れられる体制を整えている。

(倉部委員) そういうお話を伺うと非常に安心できる。今後も引き続き地域のための病院としての役割を担っていただきたい。

(倉部委員) 前回、受付窓口が混雑していて事務処理がスムーズでないという話をしたが最近では改善されてとてもスムーズになったと感じている。

また、病院に車で来る際、船橋方面から来ると右折で駐車場に入ることになり入り難い。もう少し入りやすくする方法はないか。

(野々下委員) 病院の前の道は国道なので市の管轄ではないが、右折レーンなどを作るには道幅の問題などがあるのではないか。

(横須賀院長) 病院の建替えの際などに、駐車場の入口の位置などについて検討したい。

以上 17:10 閉会

※駐車場の件について、後日以下のとおり確認

前提として道路自体は右折禁止にはなっていないものの、混雑時は下り車線（病院側）に入庫待ちの車列ができるため、事故、割込み等のトラブルを防ぐため、右折入庫禁止の看板をP入口に設置している。

【千葉県葛南土木事務所の見解】

現在、当該道路の拡幅工事の予定はなく、現在の道幅で右折レーンを作ることは不可。（右折用）信号の設置については警察の判断。

【船橋警察署の見解】

住民等からの意見により信号を設置する例はあるが、調査・予算措置など諸手続きにより数年掛かるのが一般的。道路の拡幅予定がないのであれば、右折レーンの設置もできず、右折専用信号設置のみで対応するというのも難しいのではないか。